

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	飯山精器株式会社					
代表者名	氏名	寺坂 唯史	役職名	代表取締役 社長		
主たる事務所の所在地	長野県中野市草間1162-15					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	24 金属製品製造業				
主たる事業の概要	機械加工部品の製造					
制度に該当する要件	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	253.41	245.81	207.06		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	461.24	447.40	375.73		
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>					
自動車の台数	台	3		3		
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>					

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2021	年度	計画期間	2022	年度～	2022	年度
報告対象年度	2022	年度					

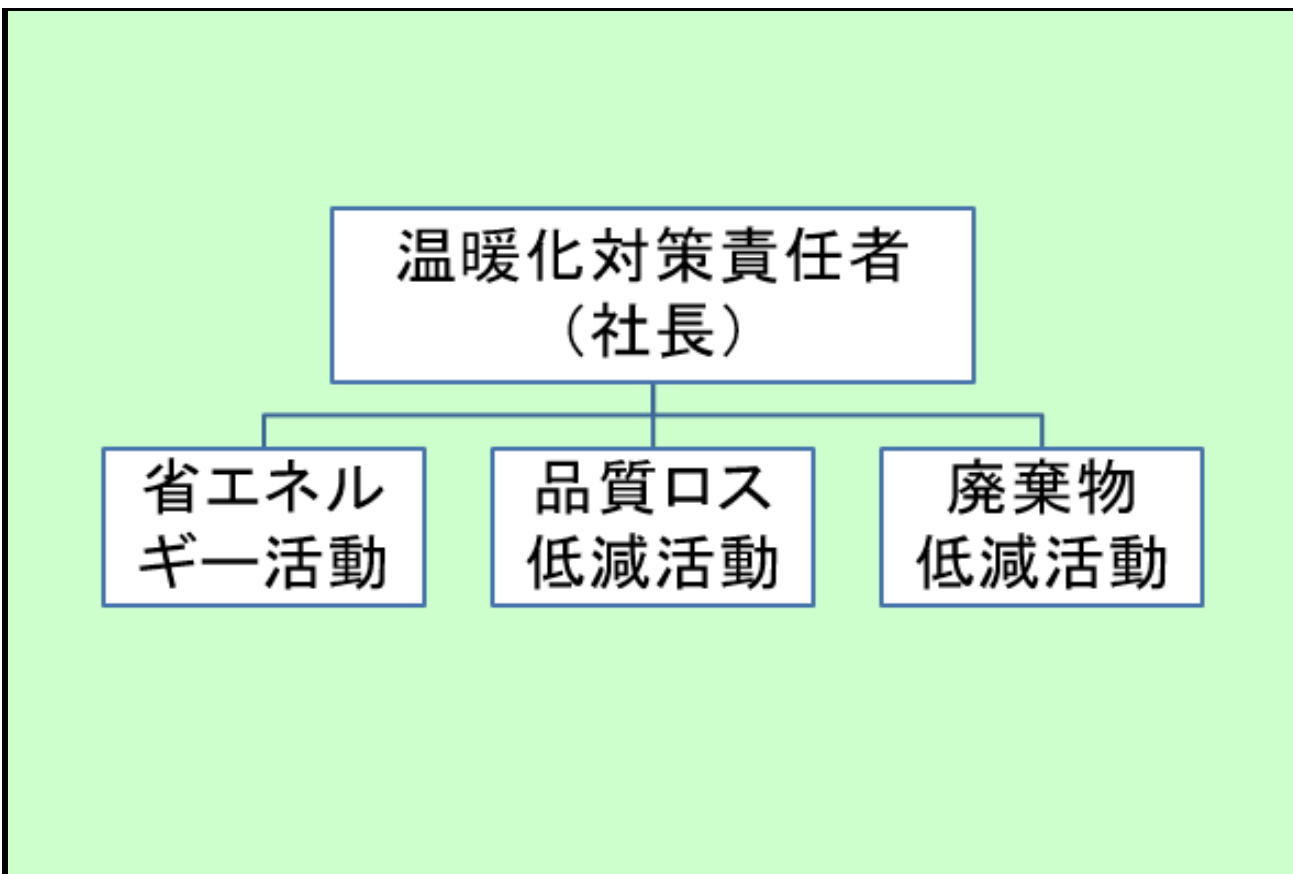
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	https://iiyamaseiki.co.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

ベンチマークを2021年4月～2022年3月とします。エネルギー起源二酸化炭素排出量を 2022年度前年比3%減とする。

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネルギー推進会議を、年1回開催することとする。

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	461.24	t-CO <sub>2</sub>	延床面積	2.72	単位	千m <sup>2</sup>
2021年度	調整後排出量	461.24	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	169.89	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>2</sup>
目標年度	目標排出量	447.40	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	164.79	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>2</sup>
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	<p>①省エネルギー活動：老朽化した空調設備、コンプレッサーを更新し、近年の高効率機器に置き換え、電気使用量3%削減を見込む ②品質ロス低減活動：生産活動中の不良品発生を削減し、生産活動の効率化により工場稼働時間の削減を見込む 夜間・休日の工場稼働96h/年削減 ③廃棄物低減活動：適切な分別の推進と廃棄物管理を行い余剰な購入を減らす。これにより物流にかかるエネルギー損失の低減等を見込む。            基準年度2021年度実績について、自動車利用に伴う燃料利用を含めてしまったため2023/8/25下記に変更。            ・原油換算エネルギー使用量 260.24kl→253.41kl            ・エネルギー起源二酸化炭素排出量 479.31t-CO<sub>2</sub>→461.24t-CO<sub>2</sub></p>						
第一年度	排出量	375.73	t-CO <sub>2</sub>	延床面積	2.72	単位	千m <sup>2</sup>
	削減率	18.53	%	原単位	138.14	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>2</sup>
2022年度	調整後排出量	375.73	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	18.68	%	
	削減率	18.53	%				
排出量等の増減理由	<p>①省エネルギー活動：老朽化した空調設備、コンプレッサーを更新し、近年の高効率機器に置き換え、電気使用量が削減した。            ②品質ロス低減活動 ③廃棄物低減活動により、前年比 15.2%品質ロスによる廃棄物が削減したこと、受注数が減ったため工場の稼働時間が前年より減ったことが起因し18.5%減の結果となった。</p>						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	延床面積		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
—年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	延床面積		単位	
	削減率		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
—年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
2021年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
—年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
—年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
2021 年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
— 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
— 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施 年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	330299	高効率空気調和設備へ更新	2022	7.00	2022	7.00
2	エネ起	360799	高効率コンプレッサ設備へ更新	2022	3.00	2022	3.00
3	エネ起	370709	品質ロス削減による稼働時間短縮	2022	3.00	2022	37.51
4	エネ起	370709	品質ロス削減による余剰材購入削減と運搬削減	2022	1.00	2022	37.51
5	エネ起	370709	資源ごみの分別徹底によるリサイクル促進	2022	0.50	2022	0.500
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電 (導入済)	kW	99	0	99		

様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	1	461.24	1	375.73				
合計	1	461.24	1	375.73				

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
CH <sub>4</sub>				
N <sub>2</sub> O				
HFC				
PFC				
SF <sub>6</sub>				
NF <sub>3</sub>				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車	1	1		
その他 (ハイブリッド等)	1	1		
合計	2	2	0	0
自動車総数	3	3		
次世代車導入割合	66.7	66.7		

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特になし
自転車の利用促進	会社手配の住居に居住する社員に対し、自転車での通勤を推奨
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	廃棄物低減活動 品質ロス低減活動を推進し余剰購入の削減による物流量削減

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		2019
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2015
	名称	ISO14001:2015	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

SDGs取り組み内容につきまして、当社ホームページ又は、<https://nagano-sdgs.com/company/6/profile/>にて掲載しております。